

15. 複合競技およびオリンピック競技会

15.1 総則

15.1.1 この規則は、セクション 3（総則）を併せて参照すること。

15.1.2 複合競技のための競技会は、以下を含まなければならない：

15.1.2.1 各カテゴリーにつき 20 名の固定された定員で行われる予選；および

15.1.2.2 各カテゴリーにつき 6 名の固定された定員で行われる決勝

そして、それぞれの予選および決勝ラウンドは、スピード種目およびボルダリング種目、リード種目の競技会を、この順に組み合わせる。

15.1.3 複合競技を構成する各競技は、この規則（複合）で言及される修正点および追加点とともに、セクション 6（リード）およびセクション 7（ボルダー）、セクション 8（スピード）の関係する規定に従わなければならない。

15.1.4 複合競技の予選および決勝ラウンドは、別の日に開催されなければならない。

15.1.5 複合競技の予選ラウンドは、次のように実施されなければならない：

15.1.5.1 それぞれの選手は、スピード競技での最後のアテンプトから次のボルダー競技の最初のアテンプトまでの間に最低 30 分間の休憩時間を取らなければならない；かつ

15.1.5.2 それぞれの選手は、ボルダー競技での最後のアテンプトから次のリード競技の最初のアテンプトまでの間に最低 120 分間の休憩時間を取らなければならない。

そして、それぞれの予選および決勝ラウンドは、スピード種目およびボルダリング種目、リード種目の競技会を、この順に組み合わせる。

15.1.6 複合競技の決勝ラウンドは、次のように実施されなければならない：

15.1.6.1 それぞれの選手は、スピード競技での最後のアテンプトから次のボルダー競技の最初のアテンプトまでの間に最低 15 分間の休憩時間を取らなければならない；かつ

15.1.6.2 それぞれの選手は、ボルダー競技での最後のアテンプトから次のリード競技の最初のアテンプトまでの間に最低 15 分間の休憩時間を取らなければならない。

15.2 予選ラウンドの形式

15.2.1 複合競技の予選ラウンドでは：

15.2.1.1 スピード競技については、この規則のセクション 8（スピード）の、スピード競技の予選ラウンドの構成や運営に関する規定に従う。

15.2.1.2 ボルダー競技については、この規則のセクション 7（ボルダー）の、ボルダー競技の準決勝ラウンドの構成や運営に関する規定に従う。

15.2.1.3 リード競技については、この規則のセクション 6（リード）の、リード競技の準決勝ラウンドの構成や運営に関する規定に従う。

15.2.2 複合競技の予選ラウンドの競技順は、次のように作成しなければならない：

15.2.2.1 スピード競技およびボルダー競技、リード競技のそれぞれについて、以下のように算出された予選シーディングの順となる：

- i. 複数の選手がスピード、ボルダリングおよびリード競技が実施される一つの予選大会を経て複合競技への出場資格を得た場合、本規則 15.5 に従って算出されたその大会の

シーディングの降順（例：高順位の選手が最後に競技を行う）；かつ

- ii 複数の選手が複数の予選大会を経て複合競技への出場資格を得た場合、その大会¹に適用される予選選考システム及び IFSC が発表したシーディングリストの原則に従う。

15.2.1.5 スピード競技については、右レーン（レーン B）の競技順はレーン A と同じ順番だが、半数のところでは前後を入れ替える。

15.3 決勝ラウンドの形式

15.3.1 複合競技の決勝ラウンドでは：

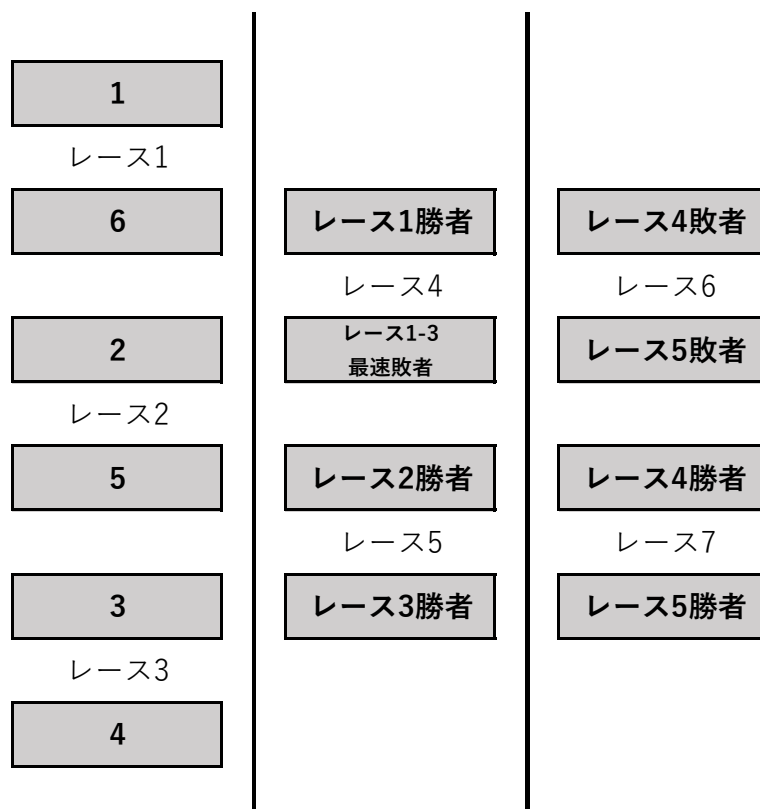
15.3.1.1 スピード競技については、この規則のセクション 8（スピード）の、スピード競技の決勝ラウンドの構成や運営に関する規定に従う。

15.3.1.2 ボルダー競技については、この規則のセクション 7（ボルダー）の、ボルダー競技の決勝ラウンドの構成や運営に関する規定に従う。

15.3.1.3 リード競技については、この規則のセクション 6（リード）の、リード競技の決勝ラウンドの構成や運営に関する規定に従う。

15.3.2 複合競技の決勝ラウンドの競技順は、次のように作成しなければならない：

15.3.2.1 スピード競技については、以下の通りの順番とする（レース 1、2 および 3 の番号は予選ラウンドのスピード競技における選手の順位に対応する）：



例：レース 1 は予選ラウンドのスピード競技における 1 位と 6 位の選手で実施せねばならない。

¹ ここは “the event”（大会）がどの大会を指すかがわかりにくい。一番筋が通るのは、複合大会の各種目ごとに、その種目の選考大会の結果に従うという解釈に思われる。なお “Seeding” は 15.5.2.3 を見ると、選考大会の結果を複合大会の成績に（カウントバック的に）反映させるための数字のように見える。

15.3.2.2 ボルダー競技については、競技順は先立つスピード競技の順位の逆順とする。(例：高順位の選手が最後に競技を行う)

15.3.2.3 リード競技については、競技順は先立つスピードおよびボルダー競技の完了に伴い算出される暫定順位の逆順とする。(例：高順位の選手が最後に競技を行う)

15.4 各競技における順位

複合競技を構成する各競技における順位は、以下のように算出される：

15.4.1 複合競技の決勝ラウンドでは、

15.4.1.1 スピード競技については、次の修正点および追加点を加えたセクション 8 (スピード) の規定に従う：

- a) 予選ラウンドについては、2 人もしくはそれ以上の選手が同着で、各選手が最低でも一つの有効なタイムを保持している場合、これらの選手の序列は以下のように決定される：
 - i. 各選手の第二の（より大きい）タイムの比較。より速いセカンド・タイムを保持する選手により高い（良い）順位が与えられる；かつ
 - ii. セカンド・タイムを保持しない選手は、セカンド・タイムを保持する選手よりも下に順位づけられねばならない。
- b) 決勝ラウンドについては：
 - i. レース 7 の勝者は 1 位、敗者は 2 位と順位付けされる；
 - ii. レース 6 の勝者は 3 位、敗者は 4 位と順位付けされる；かつ
 - iii. いずれかのレースで両選手が同じタイムを保持した場合、予選ラウンドにおいて各選手が記録した最も速いタイムによって決定される。なお同着が残る場合は、予選の 2 番目に良い時間記録を比較する。
 - iv. iii の比較後、なお同着の選手がいる場合、各選手の複合予選ラウンドの順位を比較する。最も良い順位をもつ選手が 1 位となる。
- c) 2 人もしくはそれ以上の選手が同着かつ有効なタイムを保持していない場合、これらの選手の間での序列は以下のように決定される：
 - i. 予選ラウンドでは、当該選手は同着とみなし、その順位は 15.5.2 にしたがって算出する。
 - ii. 決勝ラウンドのレース 1、2 および 3 では、追加競技をおこない、上記 15.4.1.1 b) iii の条項を適用する。

15.4.1.2 ボルダー競技については、次の修正点および追加点を加えたセクション 7 (ボルダー) の規定に従う：

- a) 2 人もしくはそれ以上の選手が同着の場合、同着選手の順位はゾーン獲得までのアテンプト数の比較で決定する；
- b) 決勝ラウンドにおいては、a)の適用後も同着が残る場合、予選ラウンドのボルダリングの成績を比較して決定する。
- c) a)、b)の適用後なお 1 位に同着が残る場合、当該選手は同着とみなし、その順位は 15.5.2 にしたがって算出する。

15.4.1.3 リード競技については、次の修正点および追加点を加えたセクション 6 (リード) の規定

に従う：

- a) 2人もしくはそれ以上の選手が同着の場合、同着選手の順位は秒単位のクライミング・タイム²を比較する（短い方が上位）；
- b) 決勝ラウンドについては、a)の適用後なお同着の選手がいる場合、その選手の順位は予選ラウンドにおけるリード成績の比較によって決定する。
- c) a)、b)の適用後なお1位に同着が残る場合、これらの選手は同着とみなし、その順位は15.5.2にしたがって算出する。

15.5 総合順位

15.5.1 複合競技における総合順位は、選手が参加する各カテゴリーの各ラウンドの終了後に算出せねばならない。

15.5.2 全3種目で競技を開始した選手にのみ、以下のように算出された総合順位を与えられなければならない：

15.5.2.1 各選手は、それぞれの終了した競技に対する“順位ポイント”を与えられなければならない：

- a) 選手のその競技での順位が単独である場合は、順位の数；もしくは
- b) 2人もしくはそれ以上の選手が同着の場合、同着の選手の平均順位の数

例：8位に4名の同着があった場合、同着の各選手に $(8+9+10+11) \div 4 = 9.5$ が順位ポイントとして与えられる

15.5.2.2 合計順位ポイントは、各競技で与えられた順位ポイントを掛け合わせて各選手に与えなければならない。

15.5.2.3 各選手は、それぞれに算出された合計順位ポイントの昇順で順位付けされ（すなわち、値が小さい方が上位）、同じ合計順位ポイントを保有する選手が複数いる場合、いずれのラウンドにおいても同着の選手の総合順位は以下のように決定されなければならない：

- a) これらの選手のそのラウンドにおける個々の成績をつきあわせて比較する；かつ
- b) 決勝ラウンドでは、複合予選ラウンドの順位を比較する。
- c) a)³の適用後、なお同着の選手がいる場合、各選手のそのラウンドへのシーディングを比較する。

例1：同着の選手を個々の成績をつきあわせて比較して分ける場合（15.5.2.3a）

	スピード	ボルダー	リード	ポイント	シーディング	予選順位	順位
選手A	12	3	8	288	4	4	1
選手B	4	8	9	288	3	7	2

例2A：決勝で同着の選手を、予選成績の比較で分ける場合（15.5.2.3b）

	スピード	ボルダー	リード	ポイント	シーディング	予選順位	順位
--	------	------	-----	------	--------	------	----

² 原文は“the nearest second”で nearest はこの文脈では四捨五入とするのが普通だと思う。小数点以下第何位で四捨五入するかを具体的に指示していないが、指示していない場合は小数点以下の四捨五入になるのだと思われる。なおこの規定はリードの 6.4.9 iii の“the next lower second (i.e. rounded down)”とは異なるので注意

³ 「a)及びb)」の誤りと推測される。

選手A	12	3.5	4	168	4	4	1
選手B	4	3.5	12	168	3	7	2

例 2B：同着の選手をシーディングの比較で分ける場合（15.5.2.3c）

	スピード	ボルダー	リード	ポイント	シーディング	予選順位	順位
選手A	12	3.5	4	168	3	4	1
選手B	4	3.5	12	168	4	7	2

例 3：同着の選手をシーディングの比較で分ける場合（15.5.2.3c）

	スピード	ボルダー	リード	ポイント	シーディング	予選順位	順位
選手A	12	7	4	336	3	4	1
選手B	7	4	12	336	4	7	2
選手C	4	12	7	336	7		3

15.5.3 暫定順位は、それらの競技の成績が算出に用いられる場合にのみ、それぞれのカテゴリーの選手が参加する複合競技のスピードおよびボルダー競技の各ラウンドの終了後に算出されねばならない。